

# 7/3 FRI

19:00 開演(18:15 開場)

## シリーズ最終公演 日本とブエノスアイレスの四季 @ 浅草公会堂

### Artsist



#### 曽根 真央 Mao Sone (ピアノ、トランペット、音楽監督)

幼少期よりピアノを、8歳でトランペットを始める。2016年にパークリー音楽大学修士課程の第1期生として首席で卒業。在学中にはタイガー大越、ダニーロ・ペレス、ジョー・ロバーノ、ジョン・パティトゥッチ、テリ・リン・キャリントン等に師事。在学中よりニューボート、モントレー、モントリオール、トロント、ドミニカ等の国際的なジャズ・フェスティバルに出演。2014年国際トランペット連盟(ITG)ジャズ・コンペティション優勝、同年国際セロニアス・モンク・コンペティション・セミファイナリスト。2015年千葉県流山市『ふるさとづくり功労賞』受賞。2018年に帰国後は東京を拠点とし、アルバム『Infinite Creature』(ボニーキャニオン)でメジャーデビュー。2022年『Brightness of the Lives』(Reborn Wood)を続けて発表。2025年、その集大成ともいえるジャズとラージアンサンプルの融合作品『Eight Little Pieces (8つの小品)』をCDおよびデジタルでリリース。自身の音楽的歩みを象徴する作品として高い評価を得ている。



#### 浅野 祥 Sho Asano (三味線、歌)

祖父の影響により、3歳で和太鼓、5歳で津軽三味線を始める。その後、三絃小田島流 二代目小田島徳旺氏に師事。2004年 津軽三味線全国大会、最高峰のA級で最年少優勝(当時14歳)その後、2006年まで連続優勝し、3連覇を達成。同大会の規定により、殿堂入りを果たす。2007年17歳でビクターエンターテインメントより「祥風」でメジャーデビュー。以降、コンセルトヘボウ(オランダ)、ケネディ・センター(アメリカ)でのコンサートをはじめ、アメリカ、ヨーロッパ、カナダ、アジア各国でコンサートツアーを行うなど、海外に向けても積極的に発信する。民謡、Classic、Rock、Jazz、Pops、フラメンコなどジャンルにとらわれない演奏スタイルにより、石川さゆり、山下洋輔、宮沢和史、yamaなど、様々なアーティストとの共演を果たす。



#### 三浦 一馬 Kazuma Miura (バンドネオン)

10歳よりバンドネオンを始める。2006年別府アルゲリッチ音楽祭にてバンドネオン界の最高峰ネストル・マルコーニと出会い、その後自作CDの売上で渡航費を捻出してアルゼンチンに渡り、現在に至るまで氏に師事。2008年国際ピアソラ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝。2014年度出光音楽賞を受賞。2017年自らが率いる室内オーケストラ「東京グランド・ソロイスツ」を結成。2022年、三浦一馬五重奏団によるピアソライヤーの最後に相応しいアルバム「ピアソラ スタンダード & ビヨンド」を日本コロムビアよりリリース。NHK大河ドラマ「青天を衝け」の大河紀行音楽演奏を担当するなど若手実力派バンドネオン奏者として各方面から注目されている。



#### 崎谷 直人 Naoto SAKIYA (ヴァイオリン)

ノボシビルスク国際ジュニア部門1位、メニューーイン国際ジュニア部門3位。ケルン音大に当時最年少で入学。その後バリ市立音楽院、桐朋学園ソリストディプロマを経て、バーゼル音楽院修了。2006年ウェールズ弦楽四重奏団を結成。第1ヴァイオリン奏者として、ミュンヘン国際コンクール弦楽四重奏部門、大阪国際室内楽コンクール弦楽四重奏部門にて各3位を獲得。2014年から8年間、神奈川フィルソロ・コンサートマスターを務めた。現在はソロ、室内楽、石田泰尚とのヴァイオリンユニット『DOS DEL FIDDLES』等で幅広く活動し、各地のオーケストラに客演コンマスとしても多数出演している。近年では、自身が代表を務めるレーベル「kKy records」を立ち上げ、レコーディング活動にも意欲的に取り組む。



#### 関 朋岳 Seki Tomotaka (ヴァイオリン)

2024年第20回記念ハチャトゥリアン国際コンクール(アルメニア)にてヴァイオリン部門日本人史上初の優勝及び2つの特別賞を受賞。バルトーク国際コンクール2023(ハンガリー)にて第2位及び2つの特別賞を受賞。2024年第1回グリュエネヴァルト国際コンクール優勝。2018年第16回東京音楽コンクールでは弦楽部門第1位。ソリストとして、これまでに日本フィル、東響、東京シティ・フィル、東京フィル、ハンガリー放送響、アルメニア国立響他、国内外の様々なオーケストラと共演している。東京音楽大学付属高校、及び東京音楽大学アーティストディプロマコースに特別特待生として在籍し卒業。在学中は 福島育英会奨学生に選ばれる。2022年度ローム奨学生。2025年度路楽堂支援アーティスト



#### 生野 正樹 Masaki Shono (ヴィオラ)

14歳よりヴィオラを始め、大分県立芸術緑丘高校を経て、洗足学園音楽大学を首席で卒業、同大学大学院修了。内田博、岡田伸夫の各氏に師事。ザルツブルク＝モーツァルト国際室内楽コンクールにて第2位入賞。現在、埼玉県でのコンサート企画、アウトリーチに力を入れている。神奈川フィル、新日本フィル、東京シティフィル、京都府交響楽団など全国の主要オーケストラに客演首席として参加、また葉加瀬太郎ツアーなど様々なジャンルのコンサート、レコーディングに参加している。石田組、トリオAXIS、昴21弦楽四重奏団、RENTARO室内オーケストラ九州ソロ首席奏者。2025年4月より東松山市市民文化センター音楽アドバイザーに就任。



#### 奥泉 貴圭 Takayoshi Okuizumi (チェロ)

札幌出身。東京芸大附属音高を卒業後、ドイツ・トロツィンゲン音楽大学を経て、2007年より2年間バイエルン国立歌劇場の契約団員として研鑽を積む。2006年度文化庁在外研修員。帰国後、2016年まで上野学園大学講師、現在はソロ、オーケストラ客演首席、室内楽奏者、レコーディングなどの活動を行う。



#### Kan (パーカッション)

大阪出身のマルチパーカッショニスト。中学の時に吹奏楽部でパーカッションをはじめ。高校在学中は仙道さおり氏に師事。卒業後、ニューヨークでチェンボコルニエル、小川慶太氏、セルジオクラコウスキ、ホジェリオボッカートなどに師事する。ニューヨーク在住中、日本大使館にて MIKA Mimura ERICKOSON バンドで演奏。2016年にボストンのパークリー音楽大学に入学。在学中はアランマレット、フェルナンドブランドオ、タイガー大越などに師事。

2022年、小曽根真氏の率いるビッグバンド”No Name Horses”のクリスマスジャズナイトにゲストとして出演。現在は東京を拠点に国内外問わず演奏活動を広げている。

## Program

声明、民謡、弦楽四重奏が織りなす、祈りと調和の音楽舞台

・ブエノスアイレスの四季 (ピアソラ)

・日本の四季 ほか



#### 海龍聲明会 Kairyu Syoumyoukai

音やリズムに乗せて唱えるお経を聲明(しょうみょう)といいます。もとは言葉の学問を意味する言葉でしたが、やがて祈りの場で独自の唱法を指すようになりました。古くは752年、東大寺の大仏開眼供養の法要でも唱えられたと伝わり、儀礼の中で受け継がれながら今に至ります。長い歴史の中で音楽的な広がりも生まれ、平曲や謡曲、さらに長唄や民謡など、日本の多くの音楽の源流になりました。今日は、関東各地の現役の住職たちによる真言宗の聲明です。悠々と響く声、仏を讃える言葉、千年以上の時間が重なり合う声明の世界を、お楽しみください。



#### 渡辺 直 Nao Watanabe (MOONRISE 総合プロデューサー)

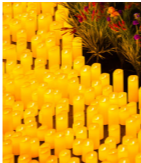
新宿の飲食店にて12年間勤務。全国チェーン店長として売上19ヶ月連続全国一位を達成。Deloitteにて14年間勤務。会計監査、IPO支援、ベンチャー支援に従事。デロイトトーマツベンチャーサポート、監査法人内新規事業部門の立ち上げに参画。現在は、森永製菓子会社SEE THE SUNの顧問、一般社団法人FOODFOODの監事など、フード業界を中心に複数企業の役員・顧問を務め、スタートアップから大企業、官公庁等の事業創出・新規事業開発支援に従事。2025年音楽事務所Moonに参画。組織再編と事業再構築に取り組み、演奏家の世界進出プロジェクトを創出し、各国展開を開拓。食と音楽の架け橋を目指し、国際的なコンサートやイベントの企画・推進に従事。



#### 青江 覚峰 Kakuho Aoe (緑泉寺住職 一般社団法人精進料理協会代表理事)

浄土真宗東本願寺派 湯島山緑泉寺住職。ブラインドレ스토랑「暗闇ごはん」代表。超宗派の僧侶によるウェブサイト「彼岸寺」創設メンバー。米国カリフォルニア州立大学にてMBAを取得。料理僧として料理・食育に取り組み、ユニット「料理僧三人衆」の一人として「ダライ・ラマ法王と若手宗教者100人の対話」などで料理をふるまう。代表著書に『お寺ごはん』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)、『ほとけごはん』(中公新書ラクレ)、『お寺のおいしい精進ごはん』(宝島社)、『サチのお寺ごはん』(秋田書店)コミックなどを持つ。2025年、オンラインコミュニティ「日々のいち腕〜つくとたべる ときどき考える〜」を立ち上げる。

fever presents  
Candlelight®



Candlelight® は、Fever がプロデュースする「文化へのアクセスを民主化する」ことを目的としたライブコンサートシリーズです。より多くの方にクラシック音楽を身近に感じていただけるよう、これまでにないユニークな形式でデザインされています。数千本のキャンドルに照らされた個性豊かな会場で、現地の才能あるミュージシャンが奏でる音楽は、他にはない幻想的な空間を生み出します。普段あまりクラシック音楽に触れる機会のないお客様も含め、どなたでも音楽の世界観に存分に浸っていただける特別な時間をご提供します。Candlelight ブランドは現在、世界150都市以上で展開され、これまでに数百万人を超えるお客様にご参加いただき、高い評価を得ています。

主催 株式会社 Moon 株式会社なか道

協力 BIOTOPS INC. Sana LLC

Candlelight® Fever

総合ディレクター 渡邊 直

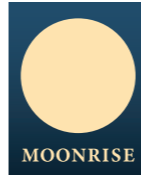
統括 青江 覚峰

照明舞台 音屋 館谷

音響 大阪音研

声明 海龍聲明会

企画・演出 Moon Inc.



MOONRISE (ムーンライズ)とは

### 日本の音楽・文化・芸術を世界へ

株式会社 Moon が手がける「演奏家世界進出プロジェクト」

音楽を軸に食・伝統文化・ファッション・映像・テクノロジーなど多分野とコラボレーションしながら

“オールジャパンの力”で日本の美と才能を世界に発信していきます。

この事業は、東京都・(公財)東京観光財団の「ナイトタイム等(夜間・早朝)における観光促進助成金」を活用して実施しています。 This project is supported by a grant from the Tokyo Metropolitan Government and the Tokyo Convention & Visitors Bureau for the promotion of nighttime tourism.